

パブリックコメントに寄せられたご意見への回答

No	ページ	ご意見	回答
1	P7	2段落目 「人口推計国立社会保障・人口問題研究所」による人口推計とありますが、間違いです。「国立社会保障・人口問題研究所」が正しいです。資料:総務省「国勢調査」、人口推計国立社会保障・人口問題研究所も同様です。	修正いたします。
2	P8	一番下資料 令和18年 人口推計国立社会保障・人口問題研究所も同様です。人口推計を削除してください。	修正いたします。
3	P9,10	新生児死亡率が高い理由がわかっていたら、ここにコメントを入れた方がよいのでは。分母・分子の関係で出生数が少ないと率にすると1人の死亡が大きな率となる場合があります。2年続くと。	新生児死亡率については出生千対として算出しており、ご指摘のとおり1名で大きく率変動している状況です。数としては令和3年、4年ともに1名であり、理由についての掲載は控えさせていただきます。
4	P44	健康寿命について、厚生労働省2022年は男性72.57歳、女性75.45歳だったとする推計値が発表されています。 厚生労働省との差が大きいと思います。笠岡市独自の健康寿命の定義P15を表の下に再掲する方が親切ではと思います。	修正いたします。
5	P45	P10の新生児死亡率の令和4年のデータは、5.7となっています。総合指標では、最終評価時は「0」評価は「A」となっていますが、P10が正しければ、最終評価時は、「5.7」評価は「C」となるのではないのでしょうか。他の数値も再確認してください。 なお、P94のような中央値であるなら、コメントが必要だと思います。 ※2 死亡率：年度により変動が大きいため、過去5年間の中央値により算出。など。	健康づくり計画(第2期計画)における総合指標の数値に関しましても、ご指摘のとおりP94の注釈のとおりとなります。健康づくり計画(第2期計画)の計画書内にてお示ししているところですが、本書P45にもP94同様の注釈を追記します。
6	P53	(2) 疾病予防及び重症化予防の推進の本文中「重症化予防」と表題にありますが、疾病予防の記載はありますが、重症化予防という文言が見つかりません。記載内容の検討をお願いします。	P53(2) 疾病予防及び重症化予防の推進の本文中に「段階ごとに健康寿命の延伸に取り組みます」とありますが、それぞれの段階での取り組みが、それ以上状態を悪化させない、すなわち重症化を予防するための取組であると認識しておりますので、現行のままとさせていただきます。

パブリックコメントに寄せられたご意見への回答

No	ページ	ご意見	回答
7	P60	「こどもへの運動・スポーツの推進に向けた意識啓発・情報提供で」は「認定こども園当等」となっているが、こどもの運動・スポーツの機会づくりでは、「認定こども園」となっています。保育園ははずれているから「等」を外しているのでしょうか。	こどもの運動・スポーツの機会づくりでは、「認定こども園や学校等」と記載しており、保育園も含めたものとしております。
8	P60	「介護予防・身体機能の維持に向けた運動の推進」では、100歳体操を長寿支援課が推進しています。担当課に長寿支援課を入れてはどうでしょうか。100歳体操の記述もあってもよいのではと思います。	今後の取組の参考にさせていただきます。
9	P67	「心身の負担を感じたり悩み事を抱えている時は、適切な休養をとるようにします。」とありますが、「適切な休養」は正しいと思いますが、ここでは、3項目と同様に「十分な休養」の方がわかりやすいのではと思います。検討をしてみてください。	休養の取り方は、睡眠以外にも外出・音楽鑑賞・旅行など個々人により様々な方法があります。量的な意味合いだけでなく自分にあった休養の取り方を見つけ実践できるという意味合いも含め、「適切な」という表現としておりますので、現行のままさせていただきます。
10	P83	市民・地域の取組には、「農作物の栽培や収穫」、「収穫体験の機会を提供します。」とあるが、市のかかわりはないのでしょうか。あれば市の取組に内容を記載し、担当課農政水産課を入れてはどうでしょうか。なければ、結構です。	令和7年度以降の事業について庁内各課で見直しを行った結果、P83のような内容となっております。
11	P69 P73	市民・地域の取組について、受診勧奨のためには回覧板だけではなく、近所同士での声掛けが大切。 地域でできることとして、地域住民の集まる場(百歳体操等)で声掛けをし合う、ということもできる。 一方で、愛育委員が声をかけるといっても、愛育委員が誰か分からない地区もあり、愛育委員であっても健診を受けましょうと声をかけるのは難しい地区もある。市民一人ひとりが健診を受けようと思ってもらうために、個々人の意識を高めるような取組(研修会の開催等)が市の取組として必要ではないか。	本計画の基本理念にありますように、人と人とのつながり・地域でのふれあいを大切にしながら、ご自身や地域の中でできることについては是非積極的に取り組んでいただきたいと考えます。 ご意見を参考に、市の取組の具体的な内容について検討して参ります。

パブリックコメントに寄せられたご意見への回答

No	ページ	ご意見	回答
12	P94～98	現状値と目標に大きな開きが見られます。笠岡市だけの問題でしょうか。現状値のベンチマークになる国あるいは県の現状値の記載があれば笠岡市の状況が把握でき精度の高い努力目標が立てられます。	<p>目標の設定に関しましては、国又は県で目標を設定されている指標に関しては基本的に国又は県の目標にあわせて設定をしております。</p> <p>笠岡市の現状値と国又は県の目標が大きくかけ離れている場合には、国又は県の現状値と目標から、目標達成するための増加率又は減少率を算出し、その増加率又は減少率を笠岡市の現状値と掛け合わせて市としての目標を算出し設定しております。</p> <p>また、国や県で目標が設定されていない指標につきましては、現状値の1割の増加又は減少した値や、第2期計画の結果を踏まえ目標を設定しております。</p> <p>なお、総合指標の一部の項目と分野別指標のうち特定健診の受診状況につきましては、計画書7ページ以降の「第2章笠岡市の現状」において国や県の値を掲載しておりますので、ご参照いただければと思います。</p> <p>現状値と目標に大きな開きが見られる点に関しましては、国の示した目標が最終目標となりますので、市の思いとしてそこを目指して取組みを推進して参りたいと考えています。</p>
13		テレビ等の番組を時々見ていますが一年間で大半は同じ病の対策をしています。例えば春は花粉症、梅雨はカゼ、夏は熱中症、秋はスポーツ、冬はインフルエンザ・ヒートショック等です。これらの対策法を広報で記載して市民に情報提供してみたらと思います。又健康づくりの料理法のレシピ講座も知らせていただければと思います。	出前講座等で保健師が地域へ出向いた際には、その時期や対象者に合わせた健康づくりに関する内容を盛り込みお伝えしたり、回覧や笠岡市食育ホームページ等でおすすめレシピを紹介したりしていますが、いただいたご意見についても今後の参考にさせていただきます。
14		市が行う健康診断の折に歯や耳鼻や脳健康診断もあれば助かります。一度検討してみてください。	市の行う特定健診・後期高齢者健診につきましては、生活習慣病（特定健診においてはメタボリックシンドロームに着目）の予防や早期発見、重症化予防を目的に実施をしております。検査項目についても国の基準に合わせて設定しております。医療機関によっては、市の健診の取り扱いにはありませんが、人間ドックをご利用いただくことでご希望の検査項目を受診できる場合もございます。岡山県内の医療機関で人間ドックを受診された場合の費用の補助制度もございます。なお、歯科検診につきましては、成人歯科検診として市内協力歯科医療機関にて受診していただけます。いただいたご意見につきましては今後の参考とさせていただきます。